

議 事 録

令和4年度 岡山県立備前緑陽高等学校 第2回学校運営協議会

出席者： 校内学校運営協議会委員：校長、校外学校運営協議会委員：石原、梶藤、菊伊、西山、馬場、松畑、三木^健、三木^澄、吉田、吉村） 事務局：教頭、事務長、土井、橋本、藤原
欠席者：（校外学校運営協議会委員）荒木、谷口、寺尾、岡部（事務局）加藤、山下

日 時 令和4年11月15日（火）9:30～11:30

場 所 岡山県立備前緑陽高等学校 工業基礎実習室

1 開会・校長挨拶

2 中間期までの取組について（報告）

・具体的な学校経営目標・計画 中間期達成状況について

広報情報課 教務課 生活課 進路指導課

びぜんのまち活性化プロジェクト推進室

・びぜんみらい学等におけるびぜんのまち活性化プロジェクトの取組について

・社会貢献活動の取組について

3 本校の授業について（説明）

4 授業参観（2限） 9:55～10:25（30分）

5 授業参観について（感想、質問、アドバイス等）

工夫を感じた点、更なる工夫のヒントとして次のような意見が出された。

工夫を感じた点

・指導が非常に丁寧である 他

更なる工夫のヒント

・生徒の間違いへの対応の仕方の方向性はどうか？ 他

6 中学生・在校生アンケートを踏まえた、年度末に向けての取組について（協議）

中学校3年生アンケート結果と取組の説明

○ 備前市5校、瀬戸内市3校、和気町1校の中学3年生に実施した。備前市3校は、検討を含め5割以上が本校に興味を示している。瀬戸内市3校は、候補は1割未満と少ないが、検討を含めると3割以上が興味を示している。本校への通学が不便な山陽沿線3校は、検討を含めて1割弱と厳しい状況である。

1 本校を受験候補としている生徒は、全体と比較すると本校の系列にある「②工業科目」「④情報科目」「⑤福祉科目」の割合が高い。一方で、「①普通科目」の割合が低い。

2 「⑤オープンスクール」を重視する割合が思っていた以上に高い。本校を受験候補としている生徒は、全体と比較すると「⑦大学への進学実績」の割合が低く、「⑧就職の実績」「⑩時間割が自由に選べるか」の割合が高い。

3 瀬戸内市の6割、山陽沿線の7割の生徒が、「総合学科」であることを知らないと回答。

質問および協議

・パンフレットに総合学科の記載はあるか。 他

7 閉会